

## 会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成21年度 第12回
開催日時	平成21年10月13日（火曜日） 午後7時から9時まで
開催場所	イングビル第4会議室
出席者	委員：池田委員、虎頭委員、西山委員、大野委員、寺内委員、富田委員、高木委員、角田委員、中村委員、北條委員、渡辺委員 欠席：青木委員 事務局：飯島課長、藤巻係長、貫井主任
議題	1 第11回西東京市男女平等参画推進委員会会議録の確認について 2 平成20年度西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価（最終）について 3 第1次西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価について（5ヵ年総括評価）について 4 その他
会議資料の名称	1 第11回西東京市男女平等参画推進委員会会議録 2 平成20年度西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価（最終版） 3 男女平等参画推進委員会委員名簿
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会</p> <p>委員長： 第12回西東京市男女平等参画推進委員会会議を始める。青木委員欠席、西山委員遅れるとの連絡があった。</p> <p>事務局： 本日、平成20年度西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価について固めていただきたい。5ヵ年総括評価についても、書き方を統一的に修正をかけ、できれば次回は確認作業をしていただきたい。</p> <p><u>1 第11回西東京市男女平等参画推進委員会会議録の確認について</u> 委員長： 第11回会議録は承認された。</p> <p><u>2 平成20年度西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価（最終）について</u></p>	

委員長：

最終確認を行う。各領域内で作業を進めてきたが、他の領域についてもチェックをし、全体を通して確認、意見していただきたい。また、他に各領域で全体的に何か諮りたいことはあるか。

各委員：

確認作業

委員：

「まちづくり」20ページの企画政策課記載中、1、2と番号を振ってあるが、意味はあるか。

事務局：

意味はなさそうだ。全体的に見てここだけ違和感がある。

委員長：

35ページについては意味があるが、20ページについては企画政策課に確認願いたい。

委員：

「まちづくり」28ページ担当課事業評価「立替」を「建替え」に誤字につき、修正願いたい。

委員：

「人権・推進体制」再度検討し送付している。新たのものに修正願いたい。

委員：

6ページ、7ページの記入があるのに、D評価になっている。C評価ではないか、空欄のものがDなので、未実施はCになるのではないか。

委員：

「学び」について、A...十分実施されているもの、B...改善の余地がある。C...施策に沿った目標、計画でないもの。D...具体的な取り組み対して報告がないもの。空白だからD評価になるとは限らないと聞いている。執行されていない、未実施の箇所はD評価としている。

委員長：

CD評価の評価基準の確認ですが、「平成19年度実績評価報告書」のはじめにを参照してください。C評価は施策にそった目標、計画が立てられていない。または未実施のもの。D評価は報告がなく空欄のものとする。「学び」以外にも全体的に見直し修正願いたい。

事務局：

27ページの「活動しやすい環境の整備」について、コメントが入ってるが、D評価に

なっている。

委員：  
男女平等の視点でないので、D評価ではないか。

委員：  
27ページの2つはC評価になるか。

各委員：  
評価基準について、協議。

委員：  
確定版を次の委員会の前までに送っていただきたい。

事務局：  
送付する。

委員長：  
このように議論がおきるのはCDの評価基準が、実態と合わなくなっている表れではないか、来年度以降の評価の課題とする。次回会議で承認したい、各領域でもう一度点検し、確定版を10月20日（火曜日）までに事務局へ提出願いたい。

### 3 第1次西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価について（5カ年総括評価）について

委員長：  
お手元にある各領域の「5カ年総括評価」について、15分位目を通していただきたい。その後意見を出していただく。

委員：  
その前に「まちづくり」の表（20年度）を埋めていただきたい。事業数62、A評価26（42%）、B評価21（34%）C評価15（24%）D評価0になる。  
（各委員：確認...省略）

委員長：  
「まちづくり」下から8行目、「女性の参画」を「男性の参画」に訂正願いたい。では、「学び」が揃っていない、文体も統一していないが、まとめ方について意見あるか。

事務局：  
「家庭生活」について確認したい。9行目「0歳児保育を新たに始めた園もあり」とあるが時期的に実行されていないのではないかと。ひばりが丘の団地の中に建替える新しい保育園が、元々近くにあった乳児保育園を廃止して、園児を増やす計画はある。

角田委員：

確かあったはず。他7ページのエガールをパリテ2号に訂正願いたい。

事務局：

「家庭生活」9行目「0歳児保育を新たに始めた園」について確認する。

委員長：

分かれば0歳児保育を始める年度を入れてください。他にそれぞれの領域、また全体を通して意見あるか。

委員：

「まちづくり」13行目（注：平成20年度についても言及します。）とあるが、まだ入っていない。

委員長：

まだ20年度の分析をしていない。文章にしてから見てもらう。

委員長：

5.人権、6.推進体制の領域が「改善されたもの」「取り組み不十分な部分」「今後に期待する、これからすすめて欲しい部分」という形式でまとめてあり、わかりやすい。他の領域もこれを意識して作成して欲しい。

委員：

前委員会欠席したので確認したい。今回「5カ年総括評価」なので、全体の評価の移り変わりが見える必要がある。かつ達成している部分、欠けている部分、これからすすめてほしい部分を書くほうがよい。5カ年のABC評価の推移を表すのがよいと思うが。

委員長：

平成19年度の「実績評価報告書」では、各領域の最後に数字で、単年のABC評価を表にした。「5カ年総括評価」「まちづくり」についても、5カ年のABC評価を表にした。それぞれの領域ごとに表を入れるかどうかは議題になるがいかがか。

委員：

前会議で、その話が全部議論された。毎年、ABCD評価が出て細かい評価を行っている。そこを「5カ年総括評価」で再度表現するよりは、市長に提出するものとして、男女平等参画推進事業を「達成している部分」「欠けている部分」「これからすすめてほしい部分」などでまとめ、各領域で総括的な流れを表現したほうが、評価が伝わり効果的という結論になった。ABC評価の数値的表現方法も議題になった。ABC評価を動きがない理由で、ランクを下げた経緯があり、評価自体そこだけでやるのは表現しにくい意見が出ていたと思う。

委員長：

要らないという意見ではなかったはず。

事務局：

各領域「5ヵ年総括評価」に5ヵ年分評価数の表をプラスして出すことは可能ではないか。前回19年度1.はじめに全体の評価2.各領域評価3.総論を5年間版にするイメージはいかがか。また文体は体言止めであったようだ。

委員長：

文体は統一する。

委員：

全体としては、ABCD評価数の表を増やし、「達成している部分」「欠けている部分」「これからすすめてほしい部分」の両方というのは合意だったのか。

委員長：

ここでもう一度確認する。全部同じ形式にする必要はないが、少しそういう意識を入れて評価していただきたい。

委員：

やはり、全体的に形式は整えた方がよいのではないか。

委員長：

はじめに5ヵ年の全体的な総括を入れ、かつ「改善されたもの」「不十分だったもの」「今後期待する課題」という柱を立てて、表示していただきたい。

委員：

「家庭生活」については取りあえず、項目ごとにまとめたので、ここで全体的なまとめ方の方向性が決まればやり易いが、「家庭生活」のABCD評価について、評価が甘かったときと、辛かったときがあり変動している、必ずしも右肩上がりになっていなく、数値的には出ない。

委員長：

それぞれの領域の評価なので、よいのではないか。あるところまで行くと横這い状態になる。評価と事業の関連ですから、構わない。

事務局：

評価をいただく立場とすれば、3つの括りがあればそれがキーワードになる。「5ヵ年総括評価」と3つの柱があれば、書き方が違っててもイメージは合ってくる。

委員長：

全領域まったく同じにする必要はない。冒頭に全体的な総括を入れて、3つの括りがあればよい。承認としたいがよろしいか。各領域のまとめを共通したスタイルにし10月27日（火曜日）までに私のところへ送付してほしい。そしてはじめの部分と終わりの部

分を副委員長に見てもらい、修正したものを事務局に送る。

委員：

今日配られたものに0歳児西原保育園記載されている。

課長：

確認します。

#### 4 その他

委員長：

次回委員会内容は「平成20年度西東京市男女平等参画推進計画各課実績評価」の確定、「5ヵ年総括評価」のまとめの確定になる。「来年度の評価の仕方」についての議論、「男女平等条例策定」に向けた議論とする。他市の条例を23区と26市、全国的な先駆的な条例をいくつか提供してほしい。

次回委員会 平成21年11月11日（水曜日）午後7時～9時 田無庁舎1階第102会議室

閉会